

一般社団法人 ラベル循環協会 2026年度 第2回 情報共有会

日時 : 2026年5月22日 16時～17時
会議体 : オンライン

留意事項

私（以下、「会員」という。）は、以下の通り、コンプライアンスを遵守することを誓約します。

第1条

1 会員は、一般社団法人ラベル循環協会が、2以上の事業者から構成される社団であり、「事業者団体」(独禁法第2条2項1号)に該当し得るものであることから、「**私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(以下、「独禁法」という。)**及び、**その他の国内外の競争関係法令(以下、独禁法及びその他の国内外競争関係法令を「すべての競争関係法令」という。)**を厳格に遵守するものであることを確認し、一般社団法人ラベル循環協会が主催するすべての活動において例外なく、一般社団法人ラベル循環協会が**すべての競争関係法令を遵守することを妨げない。**

2 一般社団法人ラベル循環協会及び会員は、一般社団法人ラベル循環協会及び会員の行動がすべての競争関係法令を遵守しているかを常に相互に確認し合うものとし、必要に応じ、知見のある第三者等からの意見聴取を行うものとする。また、一般社団法人ラベル循環協会及び会員は、以下の行為を行ってはならない。

- （１）一定の取引分野における競争を実質的に制限すること。**
- （２）独禁法第6条に規定する国際的協定又は国際的契約をすること。**
- （３）一定の事業分野における現在または将来の事業者の数を制限すること。**
- （４）構成事業者の権能又は活動を不当に制限すること。**
- （５）事業者に不公正な取引方法に該当する行為をさせるようにすること。**

第2条

会員は、一般社団法人ラベル循環協会の正当な目的の推進のために必要な場合を除き、明示・黙示を問わず、また、理由の如何を問わず、一般社団法人ラベル循環協会及びその一切の活動を、すべての競争関係法令に反する目的または態様において、利用しない。

第3条

- 1 会員は、一般社団法人ラベル循環協会が主催・企画する会議・活動において、すべての競争関係法令に反するまたは反し得る目的または態様において、各会員の事業活動に関する取引、交渉、話し合いその他一切を行わない。
- 2 会員は、他の会員に対して、すべての競争関係法令に反するまたは反し得る目的または態様において、各会員の事業及び競争上の活動や方針について情報提供を求めない。

第4条

会員は、他の会員が供給し、または供給を受ける商品または役務の価格または数量の具体的な計画や見通し、顧客との取引や引き合いの個別具体的な内容、予定する設備投資の限度等、各構成事業者の現在または将来の事業活動における重要な競争手段に具体的に関係する内容の情報について、他の会員との間で収集・提供を行わず、かつ、会員間の情報交換を促進しない。

第5条

会員は、特定の行為や慣習に対して、各業界では慣例となっていること、第三者が実施したことがあること、及び各業界標準であることを理由に、他の正当な根拠なく、当該行為や慣習が、すべての競争関係法令に違反しないまたは違反し得ないと判断してはならない。

議題

① 剥離紙リサイクルシステムの概要説明

(2 0 分) 事務局

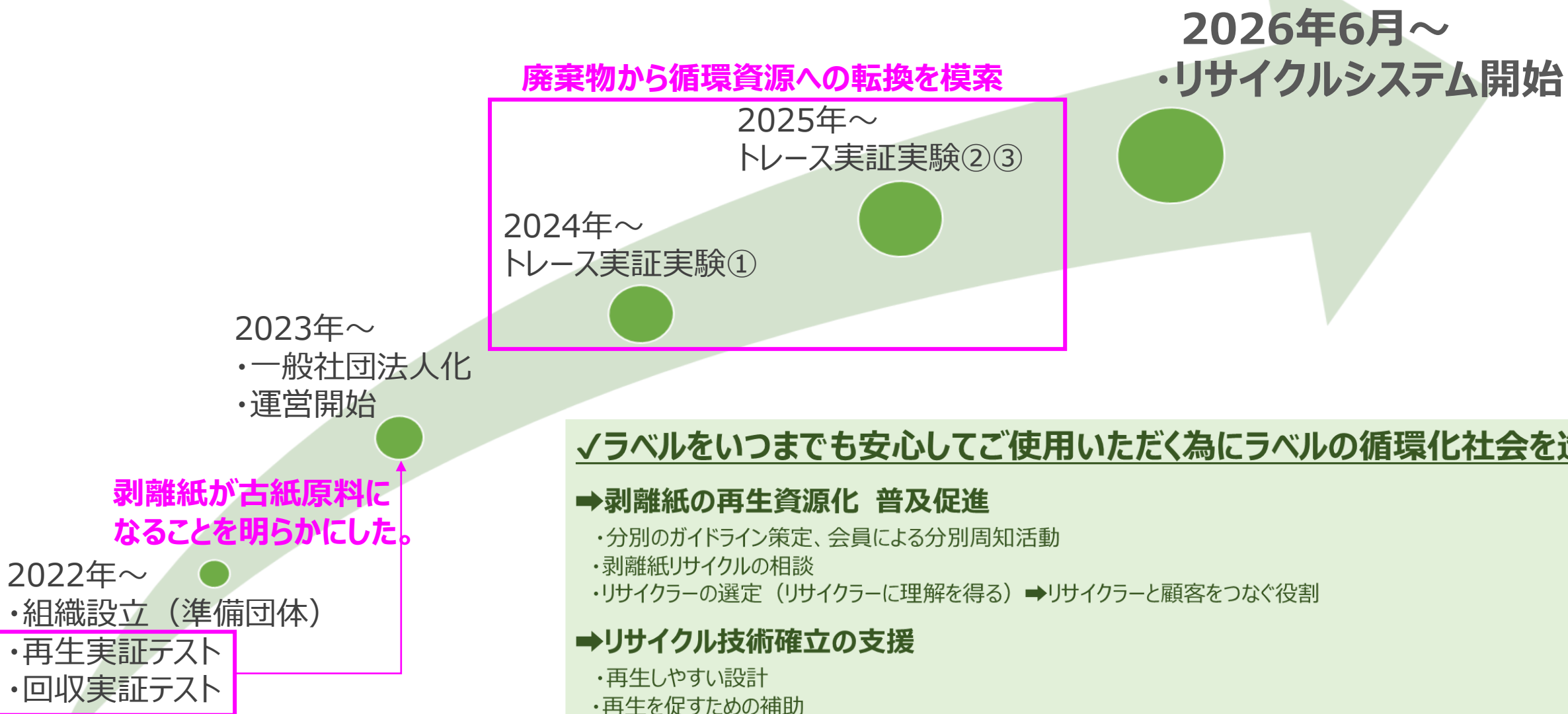
② 再生紙（剥離紙）の名刺について

(1 0 分) 事務局

③ その他

(1 0 分) 事務局

これまでの取組



✓ラベルをいつまでも安心してご使用いただく為にラベルの循環化社会を造る。

➡剥離紙の再生資源化 普及促進

- ・分別のガイドライン策定、会員による分別周知活動
- ・剥離紙リサイクルの相談
- ・リサイクラーの選定（リサイクラーに理解を得る）➡リサイクラーと顧客をつなぐ役割

➡リサイクル技術確立の支援

- ・再生しやすい設計
- ・再生を促すための補助

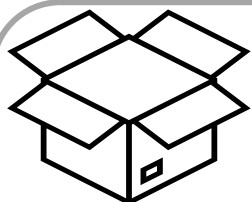
➡リサイクル状況の可視化・情報発信

- ・環境負荷の可視化➡リサイクラーとの連携
- ・普及活動における目標設定と進捗確認、情報開示

①剥離紙リサイクルシステムの概要説明

①排出事業者

ラベル製造・タック紙製造企業



- ・自社から出る剥離紙
- ・引取った剥離紙
- ・持込まれた剥離紙

※異物混入をチェック

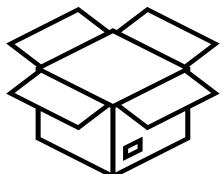
商慣習

引取り

持込

使用後に出た剥離紙

営業活動等で運べる小量



※異物混入をチェック

ラベル使用企業

元払い発送 or 運搬委託

元払い発送or運搬委託

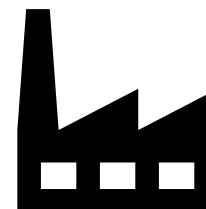
②古紙問屋



- ・品質確認
- ・ストック
- ・ベール加工

リサイクル加工
を行い古紙と
して販売

③リサイクル企業



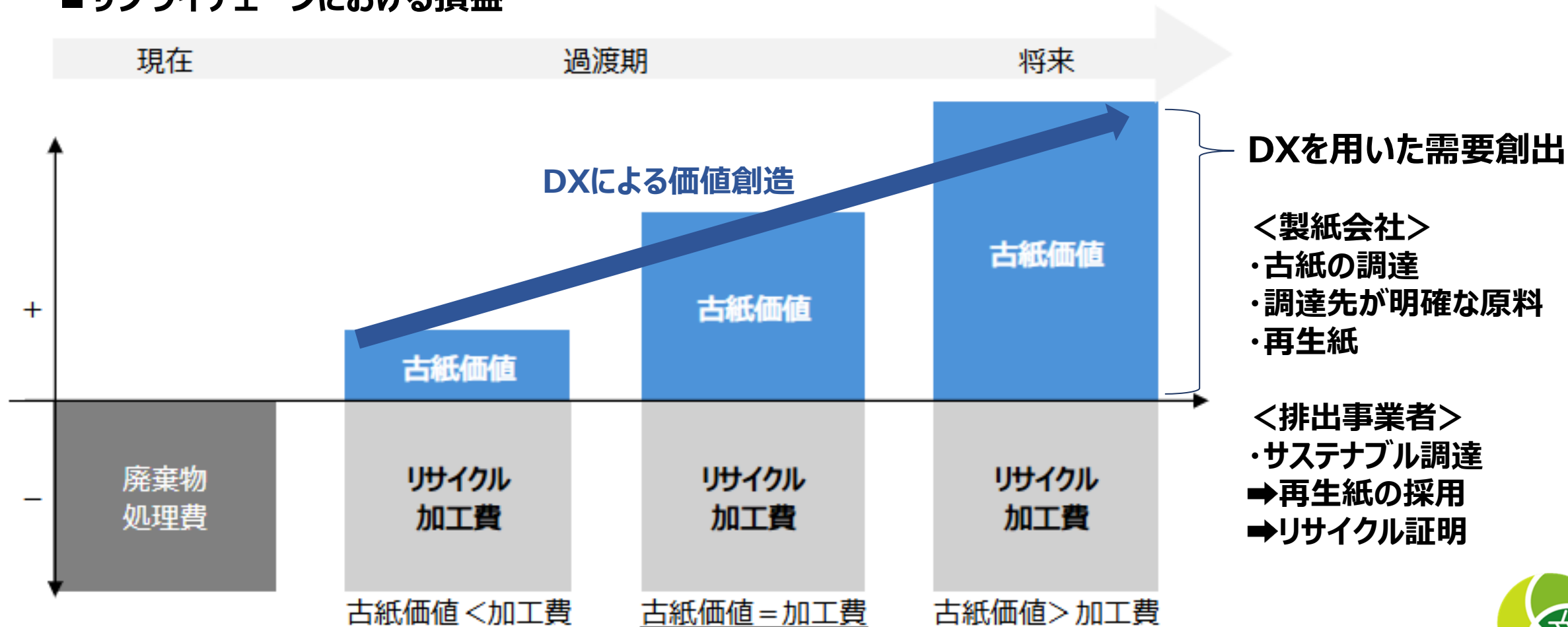
・製紙（段ボール板紙など）

<J-ECOLの役割>

- ①リサイクル推進 ➡ DXによる剥離紙古紙の価値向上
- ②How to ➡ 剥離紙リサイクルのやり方を示す。

①-①DXによる剥離紙古紙の価値向上

■サプライチェーンにおける損益



JET(J-ECOL for Trust)について



J-ECOL for Trust

・定義

JET（J-ECOL for Trust）とは、トレーサビリティに基づいて構築された信頼を、制度的に担保するための枠組みである。

・背景と課題

資源循環や環境配慮の取り組みは従来、実際にどう処理されたかが見えないリサイクル可否が慣習や認識に依存している「適正処理」が形式的に判断されているといった課題を抱えている。その結果、循環の実態と社会的評価の間にギャップが存在している。

JET (J-ECOL for Trust) の概要



「不確か」を「確か」な状態にし、物の価値を高める

他クラウドサービス
にデータ連携可能

<トレース管理の目的>

- ・排出量・状態の把握 → 古紙としての価値向上
- ・ID別トレーサビリティ → リサイクルエビデンス

データ管理
プラットフォーム

Webアプリケーション <スマートフォンの活用>

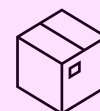
トレースID
発行



梱包・発送データ
作成



回収データ
作成



排出量・内容物の記録
・重量
・状態

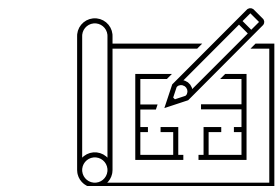
排出事業者

古紙問屋

・段ボール板紙
・トイレットロール
・etc

リサイクル企業様

HPに総リサイクル量を掲載



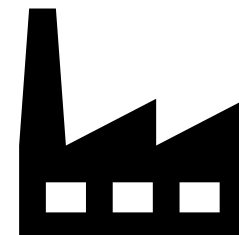
リサイクル証明の発行
(会員限定)

J-ECOL



このラベルは信頼可能な追跡システムを使用しています。
古紙リサイクルの信頼性を高めるために、
追跡可能なラベルを貼付してください。

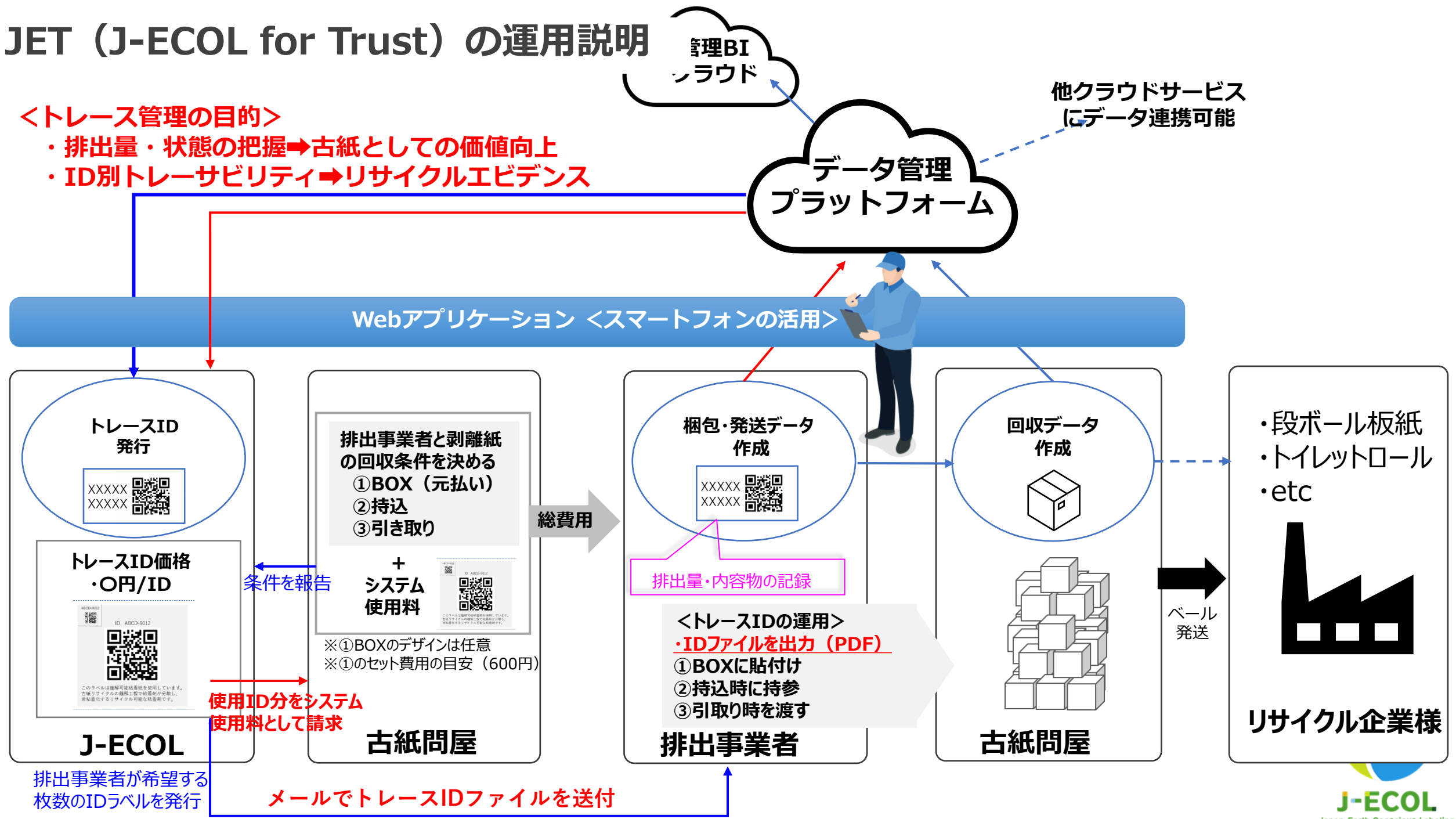
ベール
発送



JET (J-ECOL for Trust) の運用説明

<トレース管理の目的>

- ・ 排出量・状態の把握⇒古紙としての価値向上
- ・ ID別トレーサビリティ⇒リサイクルエビデンス



Step1（古紙問屋と排出事業者でリサイクル条件の取り決め）

<トレース管理の目的>

- ・ 排出量・状態の把握⇒古紙としての価値向上
- ・ ID別トレーサビリティ⇒リサイクルエビデンス

データ管理
プラットフォーム

他クラウドサービス
にデータ連携可能

Webアプリケーション <スマートフォンの活用>

トレースID
発行

XXXXX
XXXXX

トレースID価格
・100円/ID



J-ECOL

排出事業者と剥離紙
の回収条件を決める

- ①BOX（元払い）
- ②持込
- ③引き取り

+
システム
使用料

※①BOXのデザインは任意
※①のセット費用の目安（600円）

古紙問屋

総費用

梱包・発送データ
作成

XXXXX
XXXXX

排出量・内容物の記録

<トレースIDの運用>

・IDファイル出力
(PDF)

- ①BOXに貼付け
- ②持込時に持参

排出事業者

回収データ
作成



古紙問屋

ベール
発送

- ・段ボール板紙
- ・トイレットロール
- ・etc



リサイクル企業様

排出事業者が希望する
枚数のIDラベルを発行

メールでトレースIDファイルを送付

Step 2 (J-ECOL事務局から排出事業者へIDの送付)

<トレース管理の目的>

- ・ 排出量・状態の把握⇒古紙としての価値向上
- ・ ID別トレーサビリティ⇒リサイクルエビデンス

データ管理
プラットフォーム

他クラウドサービス
にデータ連携可能

Webアプリケーション <スマートフォンの活用>

トレースID
発行

XXXXX
XXXXX

トレースID価格
・〇円/ID



J-ECOL

排出事業者が希望する
枚数のIDラベルを発行

排出事業者と剥離紙
の回収条件を決める

- ① BOX (元払い)
- ② 持込
- ③ 引き取り

+
システム
使用料

※①BOXのデザインは任意
※①のセット費用の目安 (600円)

古紙問屋

総費用

梱包・発送データ
作成

XXXXX
XXXXX

排出量・内容物の記録

<トレースIDの運用>

・IDファイルを出力 (PDF)

- ① BOXに貼付け
- ② 持込時に持参
- ③ 引取り時を渡す

排出事業者

回収データ
作成



古紙問屋

ベール
発送

・段ボール板紙
・トイレットロール
・etc

リサイクル企業様

メールでトレースIDファイルを送付

Step 3（排出事業者はIDに発送情報の入力して古紙問屋へ）

<トレース管理の目的>

- ・ 排出量・状態の把握⇒古紙としての価値向上
- ・ ID別トレーサビリティ⇒リサイクルエビデンス

他クラウドサービス
にデータ連携可能

データ管理
プラットフォーム

Webアプリケーション <スマートフォンの活用>

トレースID
発行

XXXXX
XXXXX

トレースID価格
・〇円/ID



J-ECOL

排出事業者と剥離紙
の回収条件を決める

- ①BOX（元払い）
- ②持込
- ③引き取り

システム
使用料

※①BOXのデザインは任意
※①のセット費用の目安（600円）

古紙問屋

総費用

梱包・発送データ
作成

XXXXX
XXXXX

排出量・内容物の記録

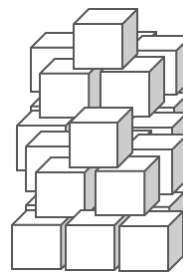
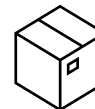
<トレースIDの運用>

・IDファイルを出力（PDF）

- ①BOXに貼付け
- ②持込時に持参
- ③引取り時を渡す

排出事業者

回収データ
作成



古紙問屋

ベール
発送

- ・段ボール板紙
- ・トイレットロール
- ・etc



リサイクル企業様

排出事業者が希望する
枚数のIDラベルを発行

メールでトレースIDファイルを送付

Step 4 (J-ECOLは排出事業者が使用したIDに応じて古紙問屋へID使用料を請求)

<トレース管理の目的>

- ・ 排出量・状態の把握⇒古紙としての価値向上
- ・ ID別トレーサビリティ⇒リサイクルエビデンス

他クラウドサービス
にデータ連携可能

データ管理
プラットフォーム

Webアプリケーション <スマートフォンの活用>

トレースID
発行

XXXXX
XXXXX

トレースID価格
・〇円/ID



J-ECOL

排出事業者と剥離紙
の回収条件を決める

- ①BOX (元払い)
- ②持込
- ③引き取り

+
システム
使用料

※①BOXのデザインは任意
※①のセット費用の目安 (600円)

古紙問屋

総費用

梱包・発送データ
作成

XXXXX
XXXXX

排出量・内容物の記録

<トレースIDの運用>

・IDファイル出力 (PDF)

- ①BOXに貼付け
- ②持込時に持参
- ③引取り時を渡す

排出事業者

回収データ
作成



古紙問屋

ベール
発送

- ・段ボール板紙
- ・トイレットロール
- ・etc



リサイクル企業様

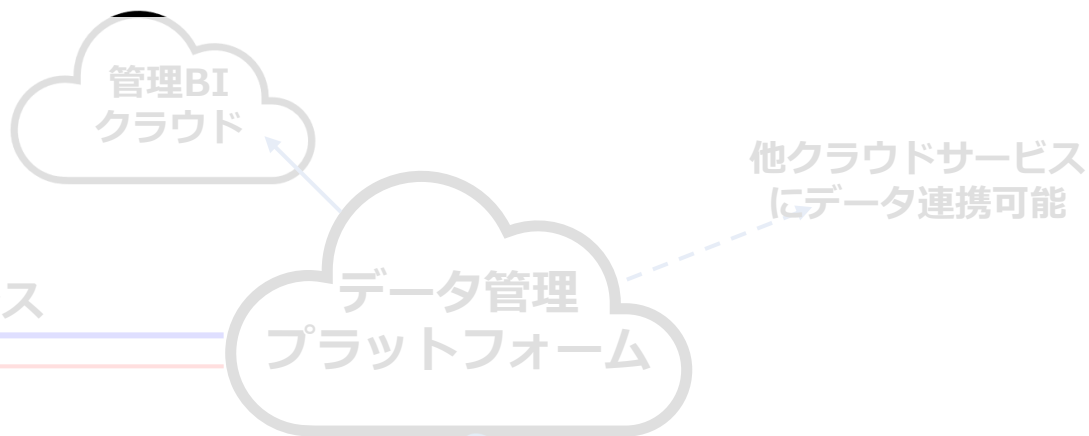
排出事業者が希望する
枚数のIDラベルを発行

メールでトレースIDファイルを送付

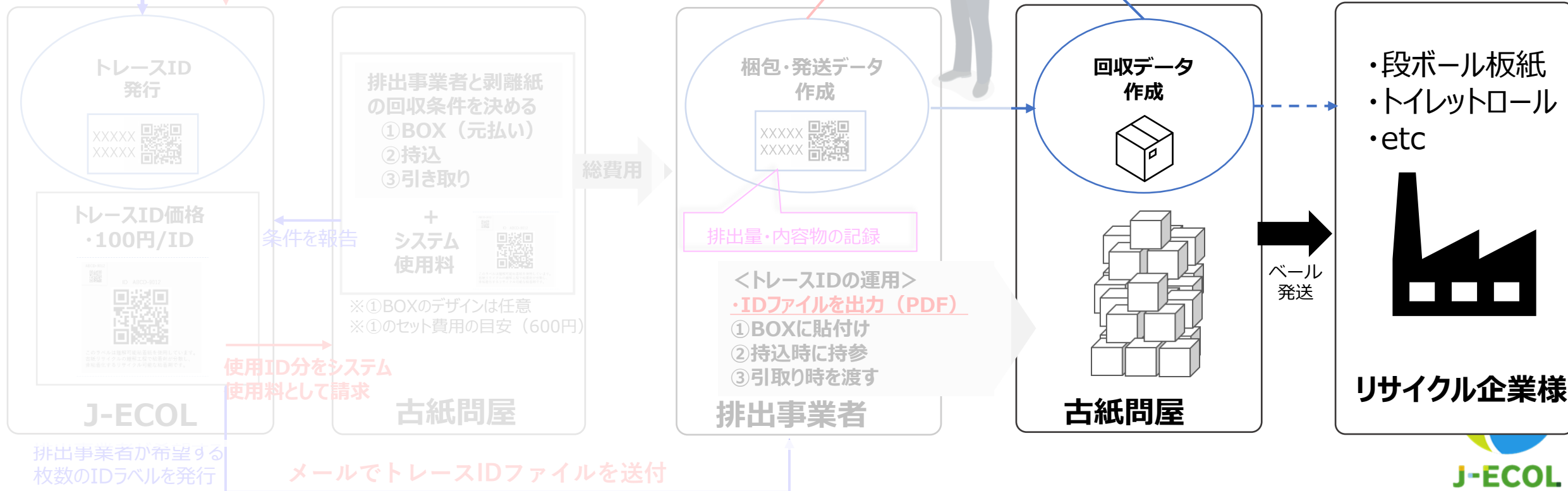
●●● (システム名) の概要

<トレース管理の目的>

- ・ 排出量・状態の把握⇒古紙としての価値向上
- ・ ID別トレーサビリティ⇒リサイクルエビデンス



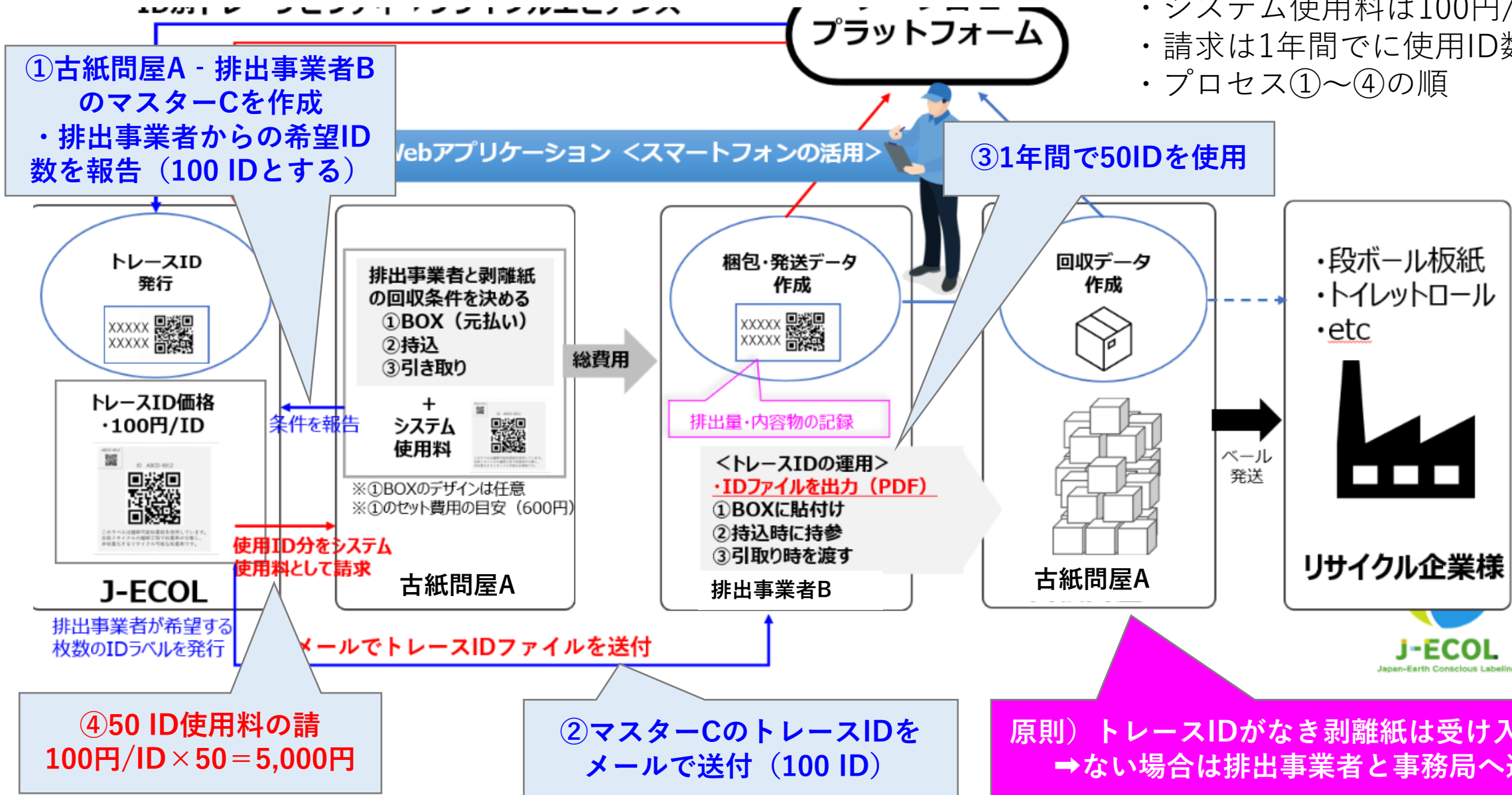
Webアプリケーション <スマートフォンの活用>



JET (J-ECOL for Trust) の運用例

事例の前提条件

- ・初期の発行IDは100
- ・1年間で使用したIDは50
- ・システム使用料は100円/IDとする
- ・請求は1年間でに使用ID数で請求
- ・プロセス①～④の順



<古紙問屋様へ運用上のおお願い>

①JET ID費用：当面は普及活動期間として「0円」とします。

ただし、排出事業者には取引条件を提示する際に

JETの運用依頼（リーフレット参照）、見積書に「JET ID費：0円」と記載をお願いします。

②加工費及び課金単位（重量、梱包）、荷姿は原則お任せします。ただし、荷姿がBOXの場合の加工費の目安を約500円/20kgでお願いします。（推進活動時にコストイメージを求められる事が多い為。）

③梱包形態はお任せします。（BOX、フレコン、コンテナ等）

BOXの仕様・売価も各社にお任せします。J-ECOLデザインが必要な場合はデータ支給致します。

④JETに排出事業者のマスター登録をするための登録申請書を事務局へ送付願います。

⑤排出事業者からの受入れ時にJET IDがない場合は排出事業者へ添付を依頼してください。

⑥受入れ時にJETで受入れ処理をお願いします。ただし重量の入力は任意とします。

⑦半期（6月・12月）に一度、剥離紙の受入れ総量の報告をお願いします。（別途ヒアリング）

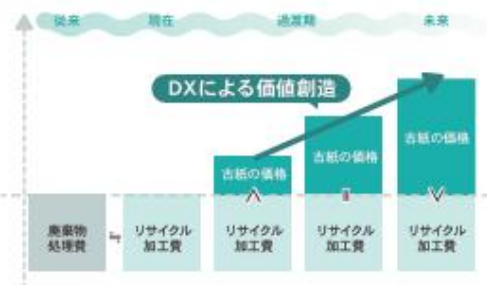


ラベル台紙は “捨てる”から“リサイクル”へ

コストから価値創造へ

シール・ラベルの使用にともなう発生する「ラベル台紙」は、条件を整えることでリサイクルが可能です。
ラベル循環協会は、リサイクル対応が可能な回収先の案内とコードを活用した情報管理により、確かな資源循環を支援します。

DXによるラベル台紙古紙の価値向上



これまで廃棄物として処理されていた使用済みラベル台紙は、DXの活用により、製紙会社においては、古紙の安定した確保・調達先が明確な原料となり、再生紙として価値を持つようになります。また、排出事業者は、トレーサビリティの確保やリサイクル証明の取得により、環境配慮の取り組みを可視化できます。これらは、サプライチェーン全体のサステナブル調達を支えるエビデンスとなります。その結果、これまでコストであった領域が環境・社会価値へと転換し、将来的には加工費を上回る価値が期待されます。

リサイクルに向けた4つのステップ



- ①古紙問屋の紹介
J-ECOLが近隣にある対応可能な古紙問屋を紹介
- ②古紙問屋と回収条件の取り決め
・元払い発送
・持込
・引き取り
・リサイクル加工費
※梱包形態は箱・フレコン・コンテナ等
- ③ID発行
J-ECOLから発行を行う
- ④古紙の条件に応じて使用済みラベル台紙を移送IDに発送情報の入力をして古紙問屋へ移送

リサイクルにおける注意事項

ラベル等の異物が混入しないように
分別の協力をお願いします。



現在、シール・ラベル（以下ラベル）は私たちの生活に当たり前に存在するモノですが、この活躍の裏で一つ課題を抱えています。それはラベルの粘着面を保護するためのラベル台紙が使用された後に不要物として扱われていることです。これを、ラベルを使用する企業、製造する企業、そしてラベル台紙を再利用する企業、その他関連する企業が限られた資源を有効活用するという同じ意志が課題解決には必要です。ラベル循環協会（J-ECOL）はラベルにおける循環型社会の実現を目的に設立致しました。皆様と一緒に循環型社会の理念を推進し、環境負荷軽減に寄与して参ります。賛同していただける会員様も募集しております。



協会ホームページ



紹介動画



入会のご案内

ラベル台紙の種類別出荷図



- 紙系（グラシン、上質も含む） 89%
- フィルム+紙の複層系（PE+グラシン、PE+上質も含む） 9%
- フィルム系（PET） 2%

国内におけるラベル台紙は約9.5万t/年流通しており、その大半が有効利用されています（※73g/㎡で計算）。ラベル台紙は良質なパルプでできており、適正に回収できれば「再生パルプ」として利用することが可能です。

ラベル新聞社調べ

ラベル台紙の年間出荷量



【紙コップ】

2023年度排出量 82億個×18g=約14.8万t
※出典：(株)日本経済総合研究センター「包装資材シェア事典2023年版」
※7オンスカップの重量（ラベル循環協会調べ）

【ラベル台紙】

ラベル台紙の年間出荷量：紙系剥離紙、フィルム系剥離紙の合計値

ラベル台紙のCO2排出量

現在も、各企業の努力により、ラベル台紙の環境負荷削減に向けたリサイクルや削減の取り組みが行われています。ただし、社会全体の仕組みが整っておらず、リサイクル率や削減率は高くありません。仮に全てのラベル台紙を燃焼した場合のCO2排出量は、右側のグラフの通りです。実際に、この数値に近いものが想定される中で、J-ECOLはCO2削減のためにリサイクルの取り組みを進めています。

※CO2排出量は、輸送+材料の燃焼処理にて算出

- 紙系（グラシン、上質も含む） 62%
- フィルム+紙の複層系（PE+グラシン、PE+上質も含む） 23%
- フィルム系（PET） 15%



※本データは気候経路 IEA Ver.3.3の気候変動IPCC2021 GWP100aを使用しています。計算方式の見直しや採用しているデータの変更などによって、排出量の計算値が更新される場合があります。算出結果は、2024年9月時点での当団体ルール、モデルケースに基づくものとなります。



「JET(J-ECOL for Trust) 」登録申請書

申請年月日	
企業名（リサイクラー）	
受入先の住所	
担当者	
電話	
メールアドレス	

企業名（排出事業者）	
排出場所の住所	
担当者	
電話	
メールアドレス	

・梱包形態		BOX、フレコン、カゴ、コンテナなど 運送便、引き取り、持込	
・輸送形態			
・年間見込量			Kg
・初回必要ID数（上記担当者、メールアドレスへ送付します。）			ID

備考	
----	--

【注意事項（ご協力事項）】

- ・排出事業者に対し、JET(J-ECOL for Trust) の運用方法について説明を行い、当該運用のご理解及びご協力をお願いします。
- ・剥離紙の受入れ時には、JET(J-ECOL for Trust) の受入れ処理にご協力をお願いいたします。
- ・受入計量を行う場合は、半期毎（6月・12月）に受入総量の集計報告のご協力をお願いいたします。

【取引に関する取扱い】

・排出事業者との間で行われる取引・契約・条件交渉等は、すべて当事者間の責任において実施されるものとし、ラベル循環協会はこれらに一切関与せず、当該取引等に起因して生じたトラブルについて責任を負いかねます。

【注意事項（ご協力事項）】

- ・排出事業者に対し、JET(J-ECOL for Trust) の運用方法について説明を行い、当該運用のご理解及びご協力をお願いします。
- ・剥離紙の受入れ時には、JET(J-ECOL for Trust) の受入れ処理にご協力をお願いいたします。
- ・受入計量を行う場合は、半期毎（6月・12月）に受入総量の集計報告のご協力をお願いいたします。

【取引に関する取扱い】

・排出事業者との間で行われる取引・契約・条件交渉等は、すべて当事者間の責任において実施されるものとし、ラベル循環協会はこれらに一切関与せず、当該取引等に起因して生じたトラブルについて責任を負いかねます。



J-ECOL
Japan-Earth Conscious Labeling

JET (J-ECOL for Trust) の今後のスケジュール

- ・6月1日（月）～6月30日（火） 試用期間とします。
- ・6月15日（月）ニュースリリース
- ・7月1日（水）から本運用開始

<会員向け説明会>（ニュースリリース前が望ましいです）

- ・随時受付致します。この取り組みを理解いただき普及活動にご協力をお願いします。

①社名 ②候補日時を3つほど ➡事務局へご連絡ください。

<会員リサイクラー説明会>（5月25日（月）～6月12日の間で調整）

- ・個別にオンラインミーティングを調整させていただきます。

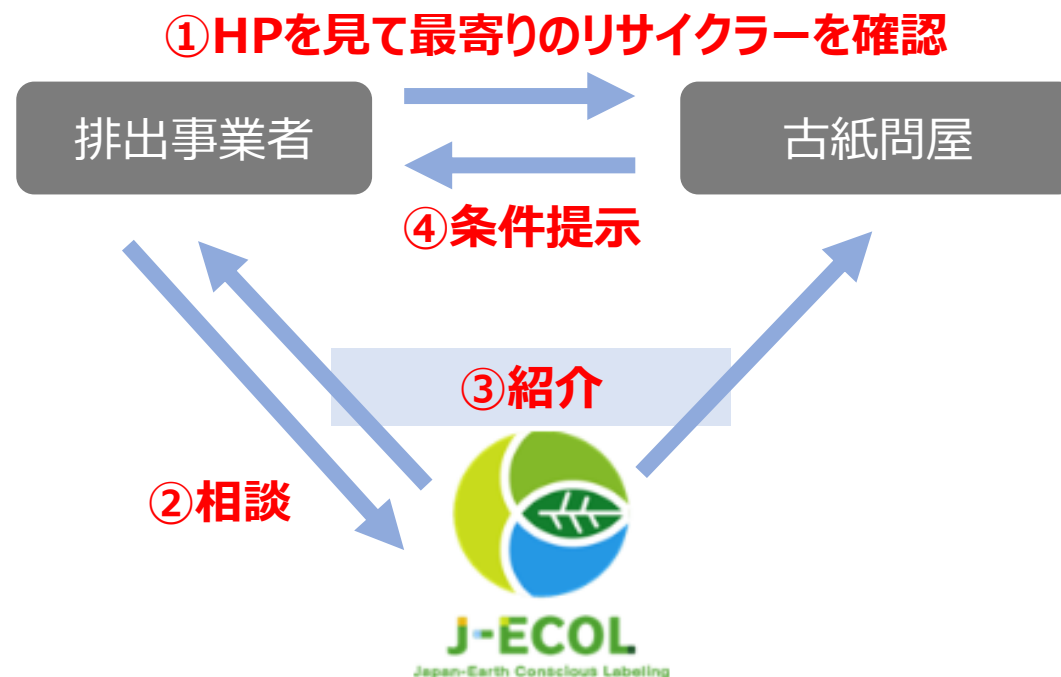
①-②剥離紙リサイクルの対応企業の可視化

- ・J-ECOLホームページ上で剥離紙の受け入れ企業を掲載致します。



掲載条件

- ・「JET」の運用に協力いただける全リサイクラー
- ※会員・非会員の判別掲載は致します。



古紙問屋様へ

- ・掲載拠点は別途ヒアリングさせていただきます。

②剥離紙再生紙の名刺受付窓口の紹介

御社の名刺を剥離紙再生紙に変更してみませんか？

・目的

剥離紙のリサイクル推進（J-ECOL活動の推進）

・基材

剥離紙再生紙 170g/m²（古紙再生紙90%、剥離紙10%）

・名刺作成企業

サイバーネット [会社情報 - 名刺・ハガキ・DM等のインターネット発注\(注文\) 印刷は株式会社サイバーネット](#)

・費用感（下記は両面4色の例）

会員	・名刺のコスト・・・約11円／枚（表裏4C） ※用紙はJ-ECOLの在庫を流用 ※J-ECOLのロゴ使用可 ※100枚/箱から受付可
非会員	・名刺のコスト・・・約18円／枚（表裏4C） ※用紙はサイバーネットが基材メーカー発注



サイバーネット様と直接口座開設が必要となります。



概要とサイバーネットのリンクを設けます

③その他



J-ECOL資源循環セミナー ＜タイトル＞ 「ラベル台紙の循環利用促進に向けた実態把握と事業者意識調査」

【主催】

・一般社団法人ラベル循環協会（[J-ECOL](#)）

【セミナー内容】

本セミナーでは、埼玉県におけるサーキュラーエコノミー推進の取組の一環として、事業系ごみの削減に向けた検討事例を紹介します。多くの事業活動で使用されているラベル台紙（剥離紙）を対象に、廃棄・処理の現状や課題を整理し、動静脈連携による資源循環の可能性について考えます。

＜日時＞

2026年5月29日（金）12:05～13:00

＜講師＞

埼玉県 環境科学国際センター
資源循環・廃棄物担当 川寄幹生様



③その他) 2026年度年間スケジュール

2026年度 年間スケジュール

開催方法		通常総会（正会員） 対面	情報共有会（正会員・協賛会員） ハイブリッド（対面・Web）	勉強会（正会員・協賛会員） ハイブリッド（対面・Web）	役員スケジュール ハイブリッド（対面・Web）
26年度期初	2026年1月				26日 月 25年決算報告 16時～
	2026年2月	13日 金 16時～	13日 金 26年度 第1回情報共有会 16時40分～		9日 月 第三期 通常総会準備 16時～
	2026年3月				
	2026年4月				20日 月 理事会 16時～
	2026年5月		22日 金 26年度 第2回情報共有会 16時～	調整中	勉強会
	2026年6月				
	2026年7月				21日 火 理事会 16時～
	2026年8月			調整中	勉強会
	2026年9月				
	2026年10月				19日 月 理事会 16時～
26年度期末	2026年11月		20日 金 26年度 第3回情報共有会 16時～	調整中	勉強会
	2026年12月				21日 月 26年度事業計画 16時～
27年度期初	2027年1月				25日 月 26年決算報告 16時～
	2027年2月	15日 月 16時～	15日 月 27年度 第1回情報共有会 16時40分～		8日 月 第四期 通常総会準備 16時～

Thank you



•Webサイト



•E-mail

